

利用者懇談会報告(令和2年度3月)【柳沢公民館】

開催日時	令和3年3月27日(土) 【第1回】小ロッカー申請団体 10時00分～11時00分 【第2回】大ロッカー、開き戸、引き出し申請団体 13時30分～14時00分
会場	視聴覚室
参加者数	【第1回】利用団体：48団体 利用者：49人 職員：5人 【第2回】利用団体：38団体 利用者：40人 職員：3人 【合計】利用団体：86団体 利用者：89人
今回のねらい	・令和3年度の団体連絡箱の使用について、調整を行う。 ・書面(アンケート)により、コロナ禍における公民館利用団体の活動状況を把握する。
次第 (形態)	1 耐震補強等改修工事に伴う田無公民館の休館について 2 施設利用に関して 3 書面による団体・サークルの情報交換 4 団体連絡箱の利用について
公民館側からの連絡事項等	1 耐震補強等改修工事に伴う田無公民館の休館について ・休館期間は、令和3年4月1日から令和4年3月31日まで(予定) ・公民館登録団体は、休館期間中、代替施設として、田無総合福祉センター3階の1室「(仮)活動室」を利用できる。予約は公共施設予約サービスで。 2 施設利用に関して ・代表者、担当者が変更した場合は、公民館に届け出を。 ・新型コロナウイルス感染対策のため、ロビー展示の形態を変更した。
公民館への要望・意見等	*書面により聴取。 ・コロナ禍で公民館に来ることを控えているメンバーもいるので、Wifi環境があれば、オンライン会議ができると思った。 ・コインベンダー式印刷機になったので、平日に印刷原紙代を支払いに来る必要がなくなって、よかった。 ・印刷機を5人で利用できるようにしてほしい。 ・夜間も利用できるように、公民館がコピー機を設置してほしい。 ・田無公民館が休館になると、柳沢公民館の部屋はますます取りにくくなる。どのように対応するのか。
団体・サークルの情報交換	*書面による情報交換。職員が読み上げて紹介。 ○コロナ禍で活動する上で工夫していることについて情報交換 ・オンライン(ZOOM、LINEなど)で活動(①対面を避けるためすべての活動をオンラインで実施。②会議の参加者数を減らすため、オンラインを併用) ・2部制で活動

	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を休止し、会報を定期的に発行 ・マスクを着用して活動（運動、ダンス） ・室外の活動を企画（創作） ・緊急事態宣言下では活動を休止し、ZOOMで有志で活動。宣言解除後は少人数のグループに分かれて活動。（合唱） ・合唱用のマスクを着用して活動。マスクを工夫して活動（合唱） ・マスクに細工をして、外さなくてもよいようにして活動（楽器） ・マイクを使用するので、会でマイクカバーと消毒液を用意して活動。マイクを持っている人は持参して活動。（歌）
団体連絡箱について	<p>【公民館からの連絡事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印刷物の保管等を目的に、1か月を限度として、団体連絡箱使用団体が一時的に使用できる小ロッカーがある。 ・空きがあるので、利用者懇談会を欠席した申請団体及び新規団体を対象に、団体連絡箱の再募集を行う予定。 <p>【団体連絡箱の調整】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小ロッカー、大ロッカー、開き戸、引き出し、すべての種類の団体連絡箱について、申請数が使用可能数を超えなかったため、調整は不要。 ・コロナ禍であり、短時間で懇談会を終了するため、参加団体の了解を得て、場所の移動は行わないこととした。 ・大ロッカーについて、空きが一つあった。小ロッカー申請団体2団体の変更を希望したため、抽選により使用団体を決定。
印象、反省点	<ul style="list-style-type: none"> ・3密を避けるために、団体連絡箱の種類別に2回に分けて実施。 ・感染対策として、発話を避けて短時間で終了するため、書面により、団体・サークルの情報交換と公民館への意見・要望の聴取を行った。（質問票に記入していただき、職員が読み上げて紹介） ・団体・サークル支援の参考資料とするために、コロナ禍での活動状況と田無公民館の休館が部屋の利用に及ぼす影響についてのアンケートを実施。 ・コロナ禍での開催のため、通常の形態では実施できなかったが、アンケート等により、各団体がどのように活動しているか、知ることができた。
配付資料	<ol style="list-style-type: none"> ① 会議次第 ② 公民館利用に関するアンケート ③ 公民館利用に関する質問・意見等記入用紙 ④ 団体連絡箱配置図 ⑤ メッセージカード

利用者懇談会報告(令和2年度3月)【芝久保公民館】

開催日時	令和3年3月6日(土) 10時～10時35分
会 場	2階ロビー
参加者数	34団体 39人(公民館運営審議会委員1人含む) 職員5人
今回のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス対策への協力をお願い ・利用区分の変更に伴う利用団体名記入ボードの撤去の周知 ・来年度の芝久保公民館まつり準備会開催の周知 ・団体連絡箱調整会の実施
次 第 (形 態)	1. 分館長挨拶・職員紹介 2. 参加者紹介(サークル紹介) 3. 公民館からの報告とお知らせ 4. 第38回芝久保公民館まつりについて 5. 公民館への要望・意見交換 6. 団体連絡箱調整会
公民館側からの連絡事項等	<p>1. 公民館からのお知らせ</p> <p>① 新型コロナウイルスの対応について</p> <p>引き続き検温、手指消毒、使用後の消毒の協力呼びかけ。緊急事態宣言の延長に伴い、3月21日まで茶道や調理実習など飲食を伴う活動の制限と、開館時間の短縮(午前9時から午後8時)が、しばらく継続することの周知。アクリルボードの活用呼びかけ</p> <p>② 利用区分の変更について (2月1日から4区分に。間違いのないように)</p> <p>③ 各部屋の利用団体名記入ボードの撤去について</p> <p>ボードの代わりにA3判の使用予定表を2階ロビーの入り口に貼りだしている。今後、使用予定表と1階の案内板の部屋の表示順を公式な順番に変更する可能性あり。</p> <p>④ 田無公民館改修工事休館に伴う利用団体数の増加について</p> <p>4月以降10団体程度増加する見込み。協力して利用してほしい。</p> <p>⑤ 視聴覚室の土足使用について</p> <p>一部の団体より柳沢公民館や田無公民館の視聴覚室のように、土足のまま利用したいという意見あり。利用者の皆様のご意見をいただきたい。意見のある方は事務室まで。</p> <p>⑥ その他 1階ロビーの空調設備が故障した。現在見積り中。</p> <p>2. 来年度の「芝久保公民館まつり」について</p> <p>・・・昆野昭男氏(陶美会会員、第37回まつり実行委員長)より</p> <p>第38回芝久保公民館まつり準備会を4月17日(土)午前10時から開催。やるのかやらないのか? やるとしたらどういう形で? など、皆様のご意見・要望・提案を公民館事務室にお伝えください。それらの意見をもとに準備会で話し合います。</p> <p>3. 団体連絡箱調整会</p> <p>申請期間内申請: 44団体(継続使用希望: 38、移動をお願いした: 1、新規希望:</p>

	<p>5)</p> <p>団体連絡箱数：66 本日出席：34 団体、欠席：10 団体（複数団体を兼ねて出席 0 人） 調整方法として賛成多数で、継続利用を優先し、新規利用希望団体には空いた箱を使用してもらうことに。また、申請書を出さずに本日調整会に参加した 2 団体と申請書を提出したが本日欠席した 10 団体は、団体連絡箱に空きがあるので、問題ない限り利用を認めることとする。申請・出席がともになかった団体への対応は公民館に一任する。</p>
<p>主な意見等</p>	<p>【質疑応答】</p> <p>Q) 文学講座の開催希望。作家の研究をしている方などを講師に。(シュトレンの会)</p> <p>A) 利用懇終了後に、以前から要望があることは承知していると伝えた。サークル自身が市民企画事業を企画することも含め対応は今後検討する。</p> <p>Q) コーラスの活動がこの 1 年できない。少人数だから利用可能だと公民館から言われたが、メンバーは皆高齢で心配でできない。この状況を公民館はどう考えているのか？(コール・ドルチェ)</p> <p>A) 公民館の運営は、国や都の状況を見ながら西東京市の対策本部が決定した対応に沿って行っている。現在コーラス・茶道・調理実習の団体など、活動ができない状況にあるサークルがあることは承知している。感染拡大状況が改善すれば活動を再開できるので、ぜひ団体としては継続してほしい。</p> <p>Q) かるたは密になるので現在活動を休止している。部屋が使えるようになったら公民館からそれぞれのサークルに連絡はあるのか？(田無百人一首の会)</p> <p>A) 利用制限が解除になるときは、市のホームページや館内掲示でお知らせする。これまでも部屋予約をしている団体には休館や開館時間の短縮に伴う変更を個別に連絡してきたが、制限解除の知らせを予約の有無にかかわらず公民館登録団体に個別に連絡するかどうかは、今は何も決まっていない。</p>
<p>印象、反省点</p>	<p>2 階ロビーで実施したため、密になることなく大人数が一堂に会することができた。ただ、第 2 学習室前廊下は室外機の音が響いて、マイクを利用しても聞き取りにくい状況が発生した。第 2 学習室のドアを閉め、マイクの音量を上げることで対応をしたが、今後もロビーで利用者懇談会を実施するのであれば、スピーカーの設置場所を第 2 学習室側にするなどの配慮が必要と考える。</p>
<p>配付資料</p>	<p>芝久保公民館利用者懇談会レジュメ</p>

利用者懇談会報告(令和2年度3月)【谷戸公民館】

開催日時	令和3年3月6日(土) 14時～15時
会 場	視聴覚室・講座室
参加者数	47団体 48人(公民館運営審議会委員1人含む) 職員4人
今回のねらい	・公民館とサークル、サークル同士で交流を図る。 ・公民館事業の紹介
次 第 (形 態)	1.分館長挨拶 2.公民館からのお知らせとお願い 3.公民館運営について 4.団体連絡箱について
公民館側からの連絡事項等	<p>① 新型コロナウイルス感染拡大予防に向けた公民館利用基準について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染予防のための新ルールの伝達・確認：チェックシートの活動事前提出のお願い、ピアノ演奏者は使用前に手指の消毒、アクリルボード貸出備品あり。印刷室の使用を3人以内でお願いしている。国の緊急事態宣言を受けて20時閉館が3月21日までに延長。 <p>② 備品申請用紙について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックシートは箱やかごの中には入れないで、必ず事務所まで提出することをお願いしている。(夜間休日は警備室) <p>③ 利用確認票について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館と利用者の皆さんとのコミュニケーションツールとして考えているので事務所への提出をお願いしている。(夜間休日は警備室) <p>④ 設備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室内機パネル交換、図書館室内機の水漏れ修繕、北川出入り口階段への手すりの設置、トイレへの水石鹸の設置、ピアノのペダルの修繕、受電設備の改修工事、視聴覚室の窓の開閉不良解消のための戸車と鍵の交換を行った。鍵は閉めにくいのでそのままの状態にしておいてほしい。ピアノは移動しないように。 <p>⑤ 印刷機の利用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年9月からコインベンダー式になった。 <p>⑥ 利用区分について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月から4区分になった。 <p>⑦ 団体連絡箱について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震補強等改修工事で休館する田無公民館から谷戸公民館へ活動場所を移すサークルからの申請があったが、これまで団体連絡箱を使用していたが令和3年度は申請しなかった団体があったため、申請団体すべてに利用してもらえる。今後利用したい団体のために、4月5日から随時受付を行う。 <p>⑧ 谷戸公民館の講座について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は7月までの事業を中止し、8月から開催した。「農業を知る講座」(8月～12月)、保育付講座「ノーバディズパーフェクト」(9月～11月)、「地域防災講座」(11月)、「インクルーシブな社会を目指す講座」(11月)。

	<p>「しめ縄を作ろう」(12月)、「能を体験」(1月)、「健康教養講座」(1月、2月)、「ミニ講習会(アロマ)」(1月)を行った。今後3月16日に「ミニ講習会(ふろしき包み)」を行う。</p> <p>⑨ 令和3年度事業について 協議中。後日ホームページ、公民館だよりをご覧ください。</p> <p>⑩ 谷戸まつりについて(実行委員会より) ・令和3年度の谷戸まつりは中止。谷戸まつりプレゼンツ交流会募集について</p>
主な意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・4区分になり午後の2枠が取りにくく支障がある。 ・部屋の速やかなキャンセルをしてほしい。 ・当日キャンセルは避けてほしい。 ・都知事がステイホームと言っているのに反しているのではないか。 ・団体連絡箱の鍵の開閉がし辛い。
印象、反省点	<p>感染防止対策として、2部屋に分けて行った。講座室の音声が途切れることがあり聞き取りづらかったのでマイクを固定すればよかった。</p>
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・アンケート用紙 ・谷戸まつりプレゼンツ交流会(掲示物・座談会)出欠票

利用者懇談会報告(令和2年度3月)【ひばりが丘公民館】

開催日時	令和3年3月27日(土) 14時～15時
会 場	集会室
参加者数	利用団体：51団体 利用者：57人(公民館運営審議会委員1人を含む) 職員：7人(公民館長、事業係長、公民館専門員3人、事務員2人)
今回のねらい	○利用者の視点から、運営上の課題及び施設等に意見をいただく。 ○公民館、利用者がそれぞれ一方向の報告や要望にならないようお互いの意見交換の場、問題解決の場となるよう配慮した運営。 ○ひばりが丘公民館の防災対策について、利用者と職員と一緒に確認する。
次 第 (形 態)	【利用者懇談会】 ①館長挨拶 ②職員紹介 ③令和2年度事業報告 ④令和3年度の公民館運営について ⑤公民館からのお知らせとお願い ⑥防災について ⑦質疑応答 【団体連絡箱調整会】
公民館側からの連絡事項等	①田無公民館が耐震改修工事のため4月1日から1年間休館となります。その間、田無総合福祉センター3階の1室を仮活動室として利用いただけます。 ②新型コロナウイルス感染症対策に引き続きご協力願います。 ③3月末で有効期限が切れる団体は至急、登録更新手続きをお願いします。 ④令和3年2月から部屋の利用区分が4区分に変更になりました。 ⑤部屋のキャンセルは、使用しないことが分かった時点で早めにシステムで。 ⑥団体連絡箱の鍵の管理について。 ⑦選挙の投票所に指定されています。 ⑧換気しながらの空調利用になりますが、空調機器は適正な温度設定で。
主な意見等	Q：団体登録更新手続きの件、5年の期限の切れる団体に連絡があるのか。 A：3月末に有効期限の到来する団体が、公共施設予約管理システムにログインすると、「3月31日で有効期限が切れます。」というメッセージが1月1日から表示される。できれば1月中に更新手続きを行い、4月の抽選予約(2月1日)がスムーズに行えるようお願いします。 Q：有効期限の確認方法は。 A：個別に公民館職員へお問い合わせください。 Q：サークルは何人から活動できるのか。 A：個人活動の場ではないので、団体活動として少なくとも3人以上での利用をお願いしています。 Q：5月の会場を借りることができなかった。希望者が多かったのでしょうか、せめて月1回でも借りることはできないか。 A：システムによる機械抽選のため、ご理解願います。 Q：休館になる田無公民館の団体がどのような活動をされていたのか知りたいので、現在の部屋の構成を知りたい。 A：実習室(調理、創作活動が行えるガス・水道設備あり)、学習室(サークル

	<p>の活動室)が2つ、和室(茶道で使う水屋あり)、会議室、視聴覚室(グランドピアノあり、音楽、ダンスのサークル等の他、講演会等でも使用)。</p> <p>Q:ロビーにコロナ対策で十分な距離を取り、1人に1テーブルと椅子1脚の設置はできないか。</p> <p>A:公民館のロビーについては、不特定の人が使用することが可能となっていること。また、ひばりが丘公民館のロビーの広さの観点から、コロナ禍においてテーブル机等を配置することはできません。</p> <p>Q:ロッカーに印刷物が入っていた。入れたことを知らせてくれる等、利用のルールは。</p> <p>A:ロッカーは団体連絡箱という名称のとおり、利用団体同士や利用団体と公民館をつなぐ、ポストとして上部に投函口を設けているものなので、お知らせ等が入っていないかを皆さんで確認願います。重要なものについては、団体連絡箱の扉に貼付する工夫もしています。</p> <p>Q:安心して活動ができるよう、難しいと思うが“要望として”入口に自動検温できる機器の設置を。</p> <p>A:“要望として”承らせていただきます。現在非接触型体温計も3台あり、土日、夜間も含めて必要であれば申し出ていただきたい。</p> <p>Q:コロナ禍の中、病人が出て活動ができなくなった団体があったか。</p> <p>A:団体ごとの事由や事情により個別の判断で利用を控えている団体はあるが、感染の関係で正式な形での保健所からの照会を受けたことはありません。活動にあたっては、団体内でよく相談して行ってください。</p>
その他	<p>公民館利用中に災害が発生した場合に備えて、利用者の対応を確認した。</p> <p>団体のメンバー皆さんで、以下のことを確認し合ってください。</p> <p>①避難経路と消火器のある場所②地震発生時は、まず落下物等から身の安全を確保する③揺れがおさまってから火の元確認、避難口を確保し慌てず落ち着いて避難④火災発生時は、早く「知らせる」、「消火する」、「逃げる」こと。</p>
団体連絡箱調整会	<p>団体連絡箱について、申込済み団体で調整会に参加した使用希望団体についてはすべて決定した。申込みしそこねた団体で使用希望団体については、空いている連絡箱に限って、4月1日～15日に再度申請を受付けて調整する。</p>
印象、反省点ほか	<p>3密を避けるため、同時に3室を使用し、防災用の館内放送を活用して実施した。各部屋からの質問票にもメイン会場から館内放送で回答し、スムーズな進行をすることができた。</p>
配付資料	<ol style="list-style-type: none"> 1 ひばりが丘公民館利用者懇談会 次第 2 令和2年度 ひばりが丘公民館 事業報告 3 新型コロナウイルス感染予防対策のお願い 4 災害が発生したら… 5 アンケート用紙

利用者懇談会報告(令和2年度3月)【保谷駅前公民館】

開催日時	令和3年3月13日(土) 10時～11時
会 場	5階 集会室、第2学習室
参加者数	集会室 33団体 33人(公民館運営審議会委員 1人を含む) 第2学習室 20団体 21人
今回のねらい	日頃公民館で活動する団体が一堂に会し、お互いの存在を知り公民館や団体同士の情報交換の機会とする。 今回はコロナ禍のため、2会場に分かれて実施。それぞれの会場で同時進行、同一内容で行った。
次 第 (形 態)	公民館からの報告とお知らせ、質疑応答 団体連絡箱調整会
公民館側からの 連絡事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者懇談会とは ・分館長挨拶 ・職員紹介と令和2年度の主催事業の報告 ・第12回駅前フェスタ参加のお願い ・西東京市公民館の新型コロナウイルスの感染対策について ・令和3年2月からの区分と時間変更について ・質疑応答
主な意見等	<p>【団体連絡箱の調整会について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請するのを忘れてしまった。申請について、周知の仕方をもっと徹底してほしい。公民館だより、館内の掲示、連絡箱への掲示だけではわかりにくい。来館した時に、受付でアナウンスをしてほしかった。 ⇒来年度以降、努力する。 ・二次調整会について、平日の午前中の開催では、仕事を持っているものは参加ができない。調整してほしい。 ⇒調整し、土曜日の午前中開催に変更した。
印象、反省点	コロナ禍における開催となったが、連絡箱の調整会もあり、たくさんの参加者を得ることができた。令和2年度主催講座の報告をし、市民のみなさまに講座実施の意義について感じていただけた。また、令和3年度駅前フェスタの開催について、関心を持っていただくことができた。
配付資料等	利用者懇談会次第、防災講座、ひばりが丘フェスティバルのチラシ1枚ずつ